

# 漁海況月報

No. 11

平成 15 年 11 月 1 日

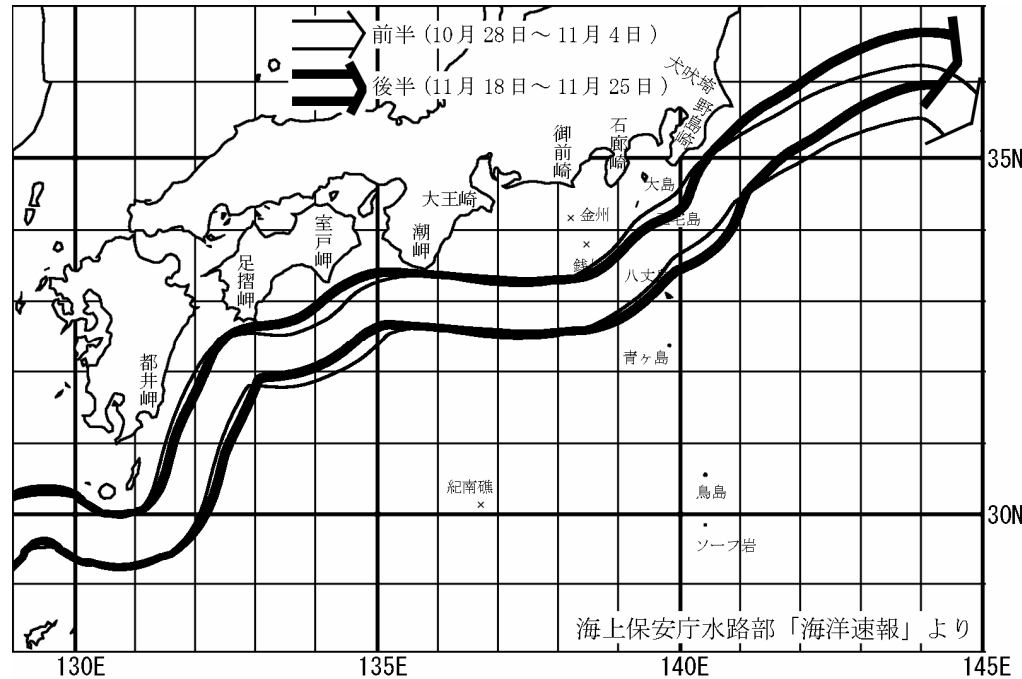
～ 11 月 30 日

静岡県水産試験場

(電話 054-627-4815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



海上保安庁水路部「海洋速報」より

## [黒潮流路]

黒潮は、10月に引き続きN型基調で推移し、遠州灘沖 33°～33°30N付近を東進、御蔵島から三宅島付近を通過したのち房総沖を北東に流去した。中旬に黒潮は房総半島に接岸し、相模湾内には反時計回りに暖水が波及した。下旬に遠州灘沖に冷水渦が見られた。

## [県下沿岸域]

県下の定地水温は、相模湾側では17～22℃、駿河湾東部では18～21℃、駿河湾西部では16～21℃で経過した。駿河湾西部の地頭方では、平年並みから低め基調であったが、他の観測点では、平年並みから平年よりも高めで推移した。

## [竿釣近海カツオ]

県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は28トンであり前年同期を上回った。魚価は380円/kgで前年同期を下回った。

上旬：36°～38°N、146°～148°E(表面水温17～24℃)の常磐沖に漁場が形成され、中、小、大カツオを漁獲した。また、39°～43°N、151°～155°E(表面水温16～20℃)の三陸沖合にも漁場が形成され、カツオとピンナガを漁獲した。

中旬：35°～37°N、146°～148°E(表面水温17～21℃)の常磐沖に漁場が形成され、中、小、大カツオを漁獲した。また、40°～41°N、153°～155°E(表面水温16～19℃)の三陸沖合にも漁場が形成され、ピンナガ主体にカツオを漁獲した。

下旬：37°～39°N、152°～154°E(表面水温18～21℃)の三陸沖合に漁場が形成され、カツオとピンナガを漁獲した。また、御蔵島から八丈島(表面水温23～25℃)にかけても漁場が形成され、特大、中、小カツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

| 期間       | 水揚量 (トン) | 水揚隻数 | 水揚量/隻 (トン) | 平均単価 (円/kg) |
|----------|----------|------|------------|-------------|
| 15年11月上旬 | 1        | 1    | 1.0        | 867         |
| 中旬       | 5        | 2    | 2.5        | 411         |
| 下旬       | 22       | 12   | 1.8        | 360         |
| 15年11月計  | 28       | 15   | 1.9        | 380         |
| 14年11月計  | 6        | 3    | 2.0        | 456         |
| 13年11月計  | 4        | 10   | 0.4        | 677         |

## [定置網]

平成15年11月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における水揚量は156トンであった。1漁場当たり水揚量19.5トンは、前年36.8トンの53%、平年値(昭和57～平成14年平均値)33.9トンの57%であった。

魚種別にみると、サバ類31.3トン(前年の1.2倍、平年の76%)、マアジ25.7トン(前年の1.9倍、平年の1.1倍)、ウルメイワシ23.0トン(前年の37%、平年の3.1倍)、マルソウダ20.3トン(前年の14.7倍、平年の67%)、サンマ11.8トン(前年の22.3倍、平年の42%)の順に多かった。

2003年11月

定地水温の旬平均値( )

(下段は偏差)

| 期間  | 伊東   | 稲取   | 下田   | 雲見   | 沼津   | 焼津   | 地頭方  |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 上旬  | 21.7 | 21.7 | 21.3 | 21.1 | 21.0 | 21.0 | 19.4 |
|     | 1.7  | 1.1  | 1.1  | 0.1  | 0.8  | 1.1  | 0.3  |
| 中旬  | 20.5 | 20.7 | 20.2 | 20.3 | 20.3 | 19.7 | 17.5 |
|     | 1.3  | 0.9  | 1.0  | -0.1 | 0.8  | 0.8  | -0.6 |
| 下旬  | 18.9 | 18.9 | 19.0 | 19.8 | 19.2 | 18.5 | 16.6 |
|     | 0.6  | 0.0  | 0.6  | 0.7  | 0.5  | 0.5  | -0.5 |
| 月平均 | 20.4 | 20.5 | 20.2 | 20.4 | 20.2 | 19.7 | 17.8 |
|     | 1.2  | 0.7  | 0.9  | 0.2  | 0.7  | 0.8  | -0.3 |

サバ類は川奈を中心にゴマサバ主体で入網し、尾叉長のモードは28~30cmであった。マアジは谷津を中心に入網し、尾叉長の中心は16cm~19cmであった。ウルメイワシは北川及び川奈を中心に入網し、尾叉長の中心は17.5~22.5cmであった。マルソウダは北川及び川奈を中心に入網し、尾叉長の中心は29~34cmであった。サンマは北川を中心に入網し、特に北川では11月6日に5.1トンまとまって入網した。

漁場別水揚量は、ウルメイワシ及びサンマの漁獲が多かった北川(41.3トン)、サバ類の漁獲が多かった川奈(38.7トン)、マアジの漁獲が多かった谷津(23.8トン)の順であった。

**[サバたもすくい棒受網]**

11月に小川港に水揚げされたサバ類は678トンですべてゴマサバであった。漁場は銭洲、三宅島近海に形成され、水揚げされたゴマサバの大きさは32cm以下の小型魚主体であった。1kg当たりの平均単価は漁獲量が多く、大きさも小型であったことから47円と安かった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

| 期 間      | 水揚量<br>(トン) | 日数 | 延隻数 | 1隻当り<br>(トン) | 漁 場       |
|----------|-------------|----|-----|--------------|-----------|
| 平成15年 上旬 | 301         | 3  | 15  | 20.0         | 銭洲、三宅     |
| 11月 中旬   | 377         | 3  | 15  | 25.1         | 銭洲、三宅     |
| 下旬       | -           | -  | -   | -            | -         |
| 計        | 678         | 6  | 30  | 22.6         | - - - - - |
| 平成14年11月 | 407         | 6  | 33  | 12.3         | 三宅        |
| 平成13年11月 | 812         | 9  | 45  | 18.1         | 高瀬、三宅     |

**[シラス船曳網]**

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で244kg、遠州灘で246kgだった。主要6港平均では245kgと前年同期(221kg)の111%、平年同期(過去5か年平均:136kg)の180%であった。11月の総水揚量は486トンと、前年同期(361トン)の135%、平年同期(212トン)の229%に当り、前年、平年ともに上回った。平均単価は662円/kgと平年同期(865円/kg)を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

| 漁 港       | 水揚量<br>(トン) | 日数 | 延統数   | 平均漁獲量<br>(kg/統/日) | 平均単価<br>(円/kg) |
|-----------|-------------|----|-------|-------------------|----------------|
| 新 居       | 21.6        | 14 | 178   | 122               | 606            |
| 舞 阪       | 178.8       | 14 | 632   | 283               | 613            |
| 福 田       | 95.9        | 13 | 356   | 269               | 635            |
| 御前崎       | 31.6        | 14 | 167   | 189               | 702            |
| 吉 田       | 83.3        | 14 | 361   | 231               | 624            |
| 静 岡       | 75.1        | 13 | 289   | 260               | 851            |
| 平成15年11月計 | 486.3       | -  | 1,983 | (平均)245           | (平均)662        |
| 平成14年11月計 | 361.4       | -  | 1,635 | 221               | 765            |
| 平成13年11月計 | 118.9       | -  | 1,367 | 87                | 1,006          |

**[まき網]**

小川港では、マイワシは148.1トン水揚され、平年同期(過去5か年平均:89.8トン)の1.1倍と平年並みであった。カタクチイワシは1.3トン水揚された。

沼津港では、マイワシは90.4トン水揚され、平年同期(43.3トン)の2.1倍と好調であった。カタクチイワシは395.3トン水揚された。過去5か年では、11月にカタクチイワシは水揚されていない。

静岡港では、マイワシは水揚されなかった。カタクチイワシは0.2トン水揚され、平年同期(47.9トン)の0.5%と不調であった。

伊東港では、マイワシ、カタクチイワシともに水揚されなかった。

**[サクラエビ船曳網]**

11月は天候不順の日が多く、出漁日数は4日であった。水揚量は4日で124トンとなり、漁場は三保沖から吉田町沖にかけて形成された。

漁獲されたサクラエビは、体長25~35mmの当歳エビと42mmにモードを持つ1歳エビで構成されたが、先月と同様に、1歳エビが主体となって漁獲された。

サクラエビ水揚量

| 期 間         | 水揚量<br>(トン) | 日数 | 1日1か統当り<br>(kg) | 漁 場     |
|-------------|-------------|----|-----------------|---------|
| 平成15年11月 上旬 | 75          | 2  | 平均 626          | 三保~吉田町沖 |
| 中旬          | 49          | 2  | 平均 405          | 三保~吉田町沖 |
| 下旬          | 0           | 0  | -               | -       |
| 平成15年11月 計  | 124         | 4  | 平均 515          | -       |
| 平成14年11月 計  | 76          | 5  | 平均 253          | 久能~安倍川沖 |
| 平成13年11月 計  | 297         | 10 | 平均 495          | 焼津~大井川沖 |

**[調査船の動向]**

富 士 丸

~11月11日 南方カツオ調査(11日間)

11月19日~ 南方カツオ調査(12日間)

駿 河 丸

11月4~5日 地先定点観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(2日間)

11月6日 駿河湾内にてサクラエビIKMT調査(1日間)

11月10日 駿河湾内にて深層水取水口調査(1日間)

11月13~14日 地先定点観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(2日間)

11月17~18日 波勝崎沖・御前崎沖にてマリンロボ調査(2日間)

11月19~20日 稲取沖にてマリンロボ調査(1日間)

11月25~26日 波勝崎沖にてマリンロボ調査(2日間)